

あなたの周りの少し気になる人々と上手につきあっていくために

成人の発達障害のある人たちの一面を紹介します。

こんなこともあります



(Aさんのいうことを
ぎいてビックリ)
えっ?!
本当ですか!!

Aさん

私がウソを
ついてるって
いうんですか?!



そんなこと
言って
ないよ…。

同じ表現でも場面や、会話の文脈によって、いろいろな機能が発生することを会得するのが苦手なことが多いです。

相手は驚いて思わず「え? ほんとう?」と言ったのですが、Aさんは、自分の言ったことを疑われたと感じてしまったのですね。

Aさんが急に怒り出したので戸惑ってしまいますが、こういう意味なんです、と丁寧に説明すると納得してくれます。決して怒りっぽい人ではなくて素直な人なんです。

いつ「うんうん」で、
いつ「それで?」なの?
タイミングが
わからないし、
1つ1つ判断するのは
とても疲れてしまう。



Bさん

Bさん、
私が一生懸命
説明してるのに、
ずっとだまって
聞いている。

なんか偉そう。
失礼じゃない?

言っていることを聞いて
理解するのに、精一杯。
あいづちをうつことまで
気が回らないんです。



そうだったんですね。それがわからなくて、つい頭にきてしまいました。社交的ではありませんが、仕事はとても丁寧で正確です。誠実さを感じてあげたいです。

他の人とコミュニケーションをとるときに、なんとなく、違和感を感じさせてしまう人がいます。ちょっとした表現や反応の違いに、目くじらをたてずに、こういう人もいるんだということ、人はみな同じじゃないということ、を分かりあうなら、世の中は暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

課長!
できました!



Cさん

なに? 自慢?
早くできたこと、アピールしてるの?
ちょっと感じ悪い…。



Cさんは、「できるだけ早くやって下さい」という指示に、忠実に、がんばりました。

できたことをさっそく報告しただけなのですが…。悪気は全くないのです。

正直でまじめなのですね。